

# ～市民にひらかれた議会を目指し～ 今年度の議会報告会が開催されました

当市議会2回目となる議会報告会『市議会・市民との意見交換会』を、去る5月22日（木）午後7時から、4会場で同時開催いたしました。

当日は多くの皆様のご参加とご意見をいただき、誠にありがとうございました。

また、前回初めて開催したこの議会報告会ですが、「報告事項がわからない」「議員個々の意見が述べられない」などの課題を受け、今回はあらかじめ人口減少や健康寿命といったテーマについて意見交換をする時間を設けるなど、新しい取り組みも行われました。

頂戴したご意見などについては、議会として調査をしたり、担当部局等へ情報提供をするなど、今後の議論や政策形成の参考とさせていただきます。



## 議会報告会とは……？

（平成24年第1回定例会 議会改革特別委員会 第2回中間報告より抜粋）

市民の負託を受けた議員が、どのような議会活動をしているのかわからないといった声がよく聞かれます。

議会活動の状況を市民の皆さんに直接報告・説明し、意見をいただく議会報告会は、議会の機能や権限、委員会活動、議会と市長の関係等についてより正しく理解を深めていただくための貴重な機会だと考えます。

### 保健センター

出席議員：野月一正（班長）・戸来 伝・畑山親弘  
赤石継美・小川洋平・石橋義雄

参加人数：6名



### 市民からの質問・意見・要望など

- 中央商店街が暗い。他県の方から太素通りで商店街どこですかと聞かれた。
- 大型店舗はみな郊外。今の方々はクレジットカードを持っている。このままでは商店街がおかれていく。
- 中央病院の整形外科は手術できる医師がいるのか。産婦人科ばかりでなく、このような状態は放置できない。診療する方々が減っていく。専門の先生が必要だ。
- アーケードは取り壊すのか。
- 小中学生がナイトーでバトミントンをやるので十和田市へ転入してきた。スポーツを生かすことによって子供たちがふえていくのではないか。